

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【公開番号】特開2012-63270(P2012-63270A)

【公開日】平成24年3月29日 (2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-013

【出願番号】特願2010-208370(P2010-208370)

【国際特許分類】

G 0 1 J 3/52 (2006.01)

B 4 1 J 29/46 (2006.01)

【F I】

G 0 1 J 3/52

B 4 1 J 29/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月28日 (2012.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、撮像装置が移動する場合にも利用可能であり、安価で、測色の精度を高くすることができる撮像装置を提供することを目的とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

< 撮像装置 >

本発明にかかる撮像装置は、

開口部を有する筐体と、

前記開口部を介して前記筐体外部の測色対象を撮像する二次元センサと、

前記筐体内に配置されて前記測色対象とともに前記二次元センサに撮像される、複数色

のパッチからなる基準パターンと、

を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明によれば、撮像装置が移動する場合にも利用可能であり、安価で、測色の精度を高くすることができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

開口部を有する筐体と、
前記開口部を介して前記筐体外部の測色対象を撮像する二次元センサと、
前記筐体内に配置されて前記測色対象とともに前記二次元センサに撮像される、複数色のパッチからなる基準パターンと、
を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項２】

前記二次元センサと、前記基準パターン及び前記測色対象の光路上に配置され、当該基準パターンの像を当該二次元センサのセンサ面に結像する結像素子と、
前記二次元センサと前記測色対象との光路中に配置され、前記結像素子による前記測色対象の結像位置を前記二次元センサ面とするための屈折率を有する透過部材と、
を備えることを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。

【請求項３】

前記開口部を覆うように前記筐体内に前記透過部材が配置されていることを特徴とする請求項２に記載の撮像装置。

【請求項４】

前記基準パターンと前記測色対象とに光を照射する光源を備え、
前記二次元センサは、前記光源により光が照射された前記基準パターンと前記測色対象とを撮像することを特徴とする請求項１から３の何れか１項に記載の撮像装置。

【請求項５】

前記光源の光を、前記基準パターンと前記測色対象とに直接照射させないための遮光板を有することを特徴とする請求項４に記載の撮像装置。

【請求項６】

前記筐体の内面は、前記光源の光を拡散するための拡散面を有し、前記拡散面で拡散した光を前記基準パターンと前記測色対象とに照射させるようにしたことを特徴とする請求項４に記載の撮像装置。

【請求項７】

前記筐体の内面は、円形形状であることを特徴とする請求項１から６の何れか１項に記載の撮像装置。

【請求項８】

請求項１から７の何れか１項に記載の撮像装置をキャリッジに搭載したことを特徴とする記録装置。